

教育委員会だより

詳しくは
こちら



私たちの大切な宝である子どもたちが、夢や希望を持ち、持続可能な社会の創り手となるよう、教育委員会や各学校では、さまざまな取り組みを行っています。その「今」を紹介します。

未来の大牟田について語り合い、学び合い、つながろう！～ユネスコスクール・SDGs/ESD交流会～

本市では、平成23年度にすべての市立学校が一斉にユネスコスクールに加盟し、ESD（持続可能な開発のための教育）を推進しています。

7月26日に「大牟田を創る子どもたちのために、いまできること」と題して「ユネスコスクール・SD

Gs/ESD交流会」を開催しました。

令和3年以降、この交流会は、参加者の主体的な学びの下で研さんを深める会としています。市立学校の関係者だけでなく、幼稚園や高等学校の先生、企業や各種団体、市職員、高校生などさまざまな



持続可能な社会づくりに取り組んでいる内容を15分間にまとめてプレゼンテーションをしました



グループセッションで出たアイデアを発表

分野から約150人が参加しました。

今年は、初の試みとして、交流会に参加の企業や団体によるブースセッションとグループセッションを行いました。

まず、ブースセッションでは、持続可能な社会づくりに貢献している14の企業や団体を取り組み内容を紹介します。参加者は自由にブースを回りながら、その取り組みを教育活動にどう生かせるか、アイデアを練りました。

次に、グループセッションでは、関係者で円卓を囲み、地域連携や学社連携についてのアイデアを出し合い、交流を深めました。



福岡教育大学の石丸哲史副学長による全体総括

最後に、福岡教育大学の石丸哲史副学長が「大牟田市はSDGs未来都市である。SDGs未来都市のコンセプトは、17のグローバル目標を、自分たちのまちでどう展開していくか、地元置き換えることである。全ての市立学校が2012年にユネスコスクールに加盟して13年が経つが、いわば「還暦」を迎える2072年に向けて、大牟田市は持続可能な社会を創る人づくりのために益々発展していけると思う」と総括を述べました。

これからそれぞれのネットワークを活用して教育活動の充実に努めます。

総合教育会議を開催

10月7日、総合教育会議が開催され、市長と教育長、教育委員が、学校教育における重点事業等について協議しました。

まず、令和6年度の市の方針と主要な重点事業について市長から説明があり、教育委員会からは、不登校児童生徒への支援「大牟田市版COOLプラン」について報告しました。特に「ハートフルスクールプロジェクト推進事業」を中心に、校内教育支援センター（ハートフルーム）やスクールソーシャルワーカーが運営するサテライトスペース、また、夜間中学「ほしぞら分校」や学びの多様な学校などについて報告を行いました。

この他、教育施策等の現状について活発な意見交換が行われ、今後の方向性について共有することができました。



市長と教育委員会が大牟田の教育と子どもたちへの思いを共有しました

第74回

大牟田市小・中学校理科展

8月31日から9月5日、市立小・中学校の児童生徒による理科の自由研究作品を集めた理科展を大牟田文化会館で開催しました。

この理科展は今年で74回目を迎えるとても歴史ある展示会です。夏休みを利用して取り組んだ作品がほとんどもありますが、中には、長期間にわたり、いろいろな見方・考え方を駆使して観察、実験したことをまとめた作品もありました。児童生徒の力作を一目見ようと、会場には期間中1200人が来場しました。



親子連れも多く訪れ、会話が弾んでいました

優れた作品は、11月3日まで、福岡県青少年科学館で開催される「小・中学生科学研究作品展」に本市の代表として出品されます。

また、今年度は、理科展の出品作品の中から「三井三池製作所モノづくり賞」が選考され、10月18日に行われた表彰式では、金賞2人、銀賞3人、銅賞5人の児童生徒が表彰されました。

中学校における

ESDの取り組み

将来の生き方について考える

松原中学校の2年生は、帝京大学福岡キャンパスの協力を得て「ワンデイ帝京大学キャンパス」の学習を行いました。これは、キャリア学習と進路選択を重ねて行うもので、将来の生き方について考えるとともに、よりよい地域社会を創るため、自分にできることを考え、行動できる力を身に付けることを狙いとしています。

6月25日、6つの学科のうち3つの学科で実施されたオープンキャンパスに参加した中学生は、それぞれの学科で取得できる資格や仕事内容について大学生から話を聞いたり、実際に体験したりしました。

帝京大学では医療人としてのコミュニケーション能力を高めることに重点を置いており、大学生は中学生に笑顔で分かりやすく話をしてくれました。

また、大学の

先生による「高校までの学びと大学における学びの違い」についてのミニ講座が行われました。



看護学科で心臓の音を聴く学生

防災の実践力を高める

甘木中学校の3年生は、「自分の命、他者の命を守るために必要な行動力を身に付け、防災の実践力を高めること」を目標に「防災学習」をしています。

9月5日、NHK福岡放送局のアナウンサーを講師に迎え、防災教室を実施しました。九州や大牟田で、今後大きな地震が起こる可能性について、地図を見ながら確認したり、アナウンサーの災害時の呼びかけの様子を観察し、平時時との違いについて学んだりました。また、阪神淡路大震災

の実際の映像などを見て「大牟田で大地震が起こったら、誰にどのような内容で、どのように命を守る呼びかけをするか」を考えました。『居合わせた身体の不自由な人』や『祖母』など、具体的に相手を想定して、「今すぐ一緒に逃げましょう!」「早く、近くの学校や公民館に避難してね。笑顔で会おう!」等をどのような言い方で伝えるかを考えました。

この経験は、もしもの時に自分で考えて行動することにつながると思います。



アナウンサーによる防災教室

■問合せ 教育委員会事務局総務課
教育みらい創造室（☎412867）